

# 第42回(恒新)釜ヶ崎夜間学校

## 7/23

今晚七時より「喜望の家」一階にて

### 釜ヶ崎の歴史

## 暑くて長い夏の出来事

■今年とまた暑くて長い夏がやってきました。昨年の冷夏と違い、うだるような暑さが今年は予想されます。しかも仕事が少ないので一層暑さが身にこたえます。

■暑苦しきは、気分的にも不快感が増し、日頃のたまった不満を何かにぶつけてみたくなりします。丁度二年前の夏も大変暑い年でした。そしてあの才一次暴動が起ったのでした。それ以後も暑い夏は年中行事のよう

(仮称)釜ヶ崎夜間学校とは……我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気に

うに起ったものでした。最近は大きな動きはありませんが、不満が解決したり、生活が良くなった訳ではありません。

■我が国が、手本として明治以後富国強兵をとげた英国では、今年大きな暴動が各地の労働者住居地に起っています。富める国は、下層労働者の犠牲の上に成りたっています。議会民主主義の国でさえ、沈黙させられた労働者の叫びは、力で権力と闘うしかないのではしうか。

の問題を、皆の力で解決していく為に、先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、お互いの知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。

■今晚は、二年前の暴動の歴史をふりがえりながら、英国の労働者の叫びも考えあわせながら、押えつけられている我々の声をどう表現していくか。また不満をただぐちとしてでなく生きる力に変えていくにはどうしたらいいかを考え学び合いたいと思います。

■是非多くの仲間が参加してください。

## 今後の予定

- 七月三日(木) スライド上映
- 「フリーレン・バナナ物語」
- 海外の労働者の実態を知る
- 八月六日(木) 労働・ビデオ上映
- 人夫出しと在日朝鮮人問題
- 八月一三日(木) 夏祭りに合流
- 八月二〇日(木) 運営委
- 八月二七日(木) 歴史

# 《仮称》釜ヶ崎 夜間学校ニュース

## 才41回報告 『運営について、何でも話そう。』

厳しい夏だが

なんとかが

がんばろう

先は仕事が出来てきたが...

先週の夜間学校では、集ったみんなまで、まず最近のそれぞれの生活のこと、仕事のことについて、話し合いました。

まず、「最近、少しづつ仕事が出来てきた。」という意見ができました。でも、去年より少ないし、本質的には変わらぬ。仕事がないという状況は、まだまだ続くのではないだろうか。という声が多くありました。

また、「釜のドヤはできが悪い。電気メーターがついていないところがある。」という意見や、その他、原発問題を研究している仲間から、くわしい意見が述べられました。「釜の労働者も原発に働きにしているが、普通一千万の仕事をして千円ぐらいでやっている。最先端

で働いている。四・五日前も、

原発の求人センターに来てたで。求人に来たら、みんな逃げなきゃいかん。原発絶対反対や。

石をなげるかわりに

文章をなげよう。

かねてから声が出ていた「文集」についても話し合いましたが、去る7月14日の朝日新聞にでていた市大学生による釜ヶ崎労働者調査書のことと関連されて話が展開していききました。

「労働者の人生を学問的に研究するだけではない。この調査書の目的は、結局、学生が労働者の悩みになって考えてみるという試み、なのかい。本人ぬきの調査もあるみたいだ。」といった様々な意見が出さ

れましたが、この調査書が発行

されてからもう一度話して考え

てみようということになりました。

そして、「うちらの方から、こ

のような調査書を作り出してい

う。「釜には、案外、本を読んだり、文章を書いている人が多

いようだ。石をなげるかわりに、文章をなげていこう。」とい

った意見が出されていきました。

みんながふる、みんなのひろば

《仮称》釜ヶ崎夜間学校

運営委員会準備会  
萩の茶屋二ノ八ノ一八 喜望の案内  
電話(06)647-1394  
(毎週木曜日七時〜十時の間)

